

令和7年3月4日

保護者のみなさま

北井上小学校長 豊田 佳男

北井上小学校 令和6年度「学校生活についてのアンケート」集計結果について

春の気配が少しずつ感じられる頃となってきました。保護者の皆さまには益々ご健勝のことと存じます。本年度も余すところわずかとなり、もうすぐ卒業式、続いて修了式を迎えます。1年間、本校の教育活動に多大なご支援ご協力をいただき、ありがとうございました。

さて、「学校生活についてのアンケート」には、多くの方からご回答をいただき、ありがとうございました。集計いたしましたので結果をお知らせします。



1 昨年度集計結果との比較による、成果として

- 96.4%の児童が「学習内容が分かっている」と感じています。
- 「タブレット端末を使うと、学習が分かりやすい」は95.5%、昨年度と比べ6.2%上昇し、タブレット端末の使用が日常的になってきたことがうかがえます。ICT支援員と協力しながら、より効果的で円滑なICT機器の利活用に努めます。
- 「自分によいところがある」と思う児童は80.1%、また「自分のことを大切にしている」と思う児童は90.1%と、ともに高い水準を保っています。日頃からの人権教育や特別支援教育の取組が土台となり、子どもたちの自尊感情や自己肯定感が高まっています。ご家庭でも「自分にはよいところがある」と感じたり、「自分は大切な存在である」と実感したりできるよう、お子さまとじっくりお話をさせていただきたいと思えます。
- 「朝ごはんを食べていますか」の項目では、93.7%で90%を上回りました。お子様の健やかな健康の促進を図る上で、朝ごはんを食べることは重要です。食育の推進とともに、朝食摂取率100%をめざします。
- あいさつは自分からできていると考える児童は81%で、目標数値の80%を上回りました。今後も、ボランティア委員会を中心にしたあいさつ運動や、6年生による朝の挨拶ボランティア活動を継続しながら、あいさつの大切さを伝えていきます。
- 保護者のみなさまの回答率が昨年引き続いて非常に高く(92.8%)、本校教育活動に関心をもってくださっていることがよくわかりました。今後ともよろしくお願ひします。

2 課題として

- 「読書が好き」と答えた児童が69.3%で、昨年度と比較して14.3%も下がっています。表現力向上ならびに活字離れストップのため、ご家庭での読書習慣の定着にご協力ください。
- 「早寝・早起きは守れていますか」の項目では、昨年と比較して5.8%下がって72%となりました。学年が上がるほど睡眠時間が短くなり、1日6時間の睡眠が確保できていない子どもや深夜12時以降も起きている子どももいます。規則正しい生活リズムは学習にも大きな影響を与えるため、学校と家庭で連携して、しっかり身に付けさせていきます。
- 「家では決められた時間、学習に取り組んでいますか」では、児童は67.5%で(前年度より7.9%減)、保護者アンケートではさらに低く52%(前年度より4.6%減)でした。基礎学力と学力向上のため、学習習慣の定着と学校での指導改善・充実に取り組む必要があります。

- 「火事や地震・津波が起こったとき、どう行動したらよいか分かっている」については、児童100%と、過去5年間で最も高い数値を示し、子どもの防災意識は育ってきていると言えます。しかし、保護者は68.3%で児童との意識に大きな差があるようです。地震等の災害被害は日本各地で起きており、本校区においても地震・津波避難についての備えや話し合いは不可欠です。今後も家庭と連携した防災教育を進めていくことが大切だと考えます。

3 学校関係者評価委員会での意見

- 表現力向上に向けた家庭での学習習慣や読書習慣については、家庭の事情もあるだろうが、個人懇談、各学年だよりや保健だより、学校HPを通じて、保護者への協力をできるだけ要請してはどうか。学校と家庭の両輪で、子どもの読書習慣や表現力を付けていってほしい。来年度も、PTAのボランティアによる本の修繕や図書室の整備などを引き続き行うので、どんどん図書室を利用させてほしい。
- いじめやトラブルは起きることを前提に、いじめが起きた後の対応を迅速かつ適切に行うことを、学校は共通理解し、トラブルやいじめを未然に防ぐためのきめ細かな見取りや早期発見のためのアンケート調査を確実に行ってほしい。また、全教職員で子ども一人一人に寄り添い、子どものサインに気付けるよう体制を整えてほしい。
- 地域の防災活動を支える未来の人材を育成していくためにも、日頃から防災に対する意識を高め、防災に対する知識やスキルを高めていくよう、こども園と小中学校で連携をとってほしい。

以上の課題を教職員一同が真摯に受け止めるとともに、改善に向け、次年度の教育活動およびPTA活動に取り組んで参りたいと考えます。そのためには、ご家庭のご理解とご協力が何より大切と考えておりますので、今後ともどうぞよろしくお願ひします。



4 来年度に向けた取組方針

- 表現力の向上については、子どもの実態に応じながら、文章を書く機会や自己表現できる場を可能な限り設定していきます。また、読書活動の励行については、子どもたちの興味関心を引くような魅力的な図書の購入を心がけ、各クラスの読書活動の奨励や委員会活動の工夫を推し進め、語彙を増やし、表現方法を身に付けさせていきます。家庭での学習習慣については、子どもの学力向上および学習内容定着のために、個人懇談や学年だより、学校HPを通じて協力をお願いしていきます。
- 子どもの生活習慣についても、各学年だより、保健だより等で知らせる他、定期的にアンケートをとり、実態把握に努めます。保護者のみなさまの声を聞き、どんな情報をどのように発信すればよいか工夫をしていきます。
- 非常変災に備え、防災に関する知識を更新し、スキルを高めていけるよう、今年度に行った火災、地震、津波、不審者侵入と様々な状況を想定した避難訓練を来年度も実施し、子どもたちの防災意識を高めていきます。
- 保護者や地域の声を聞きながら、子どもたちがいきいきと活動する活力ある「北井上小学校」となるよう、教職員が一丸となって取り組んでいきます。